

英語科 学習指導案

枚方市立楠葉中学校
指導者 高橋 瑞人
NET Mark Rinella

1. 日 時 平成 25 年 11 月 25 日 (月) 第 6 校時 / 14:40~15:30
2. 学年・組 第 2 学年 6 組 少人数 (男子 9 名、女子 10 名)
3. 単 元 名 Unit 5 A New Language Service
Multi Plus 3 好きなこと・もの New Horizon English Course2 (東京書籍)
4. 単元目標 (1)Unit5 ① if 節を用いた文の意味を理解し、表現することができる。
② that 節を用いた文の意味を理解し、表現することができる。
③ when 節を用いた文の意味を理解し、表現することができる。
④ because 節を用いた文の意味を理解し、表現することができる。
(2)Multi Plus 3 ①既習事項(if, that, when, because など)を使って 4 文以上の英語で自分が好きなこと・ものの紹介を書くことができる。
②友達の発表を聞いて質問することができる。

5. 教 材 観

本単元は、緑市の“foreign language volunteers”募集を題材として、接続詞を学習する単元である。ここでは、if 節、that 節、when 節、because 節を状況に合わせて対話や新聞記事の中で使い、それらが文と文をつなぐ働きであることを示している。そして、その学習のまとめとして、それらの既習事項を用いて、自分自身の「好きなこと・もの」の紹介を行う。4 技能を統合した活動を取り入れ、活用することによって、学習した内容の定着を図る。そのためには、4 技能一つひとつの活動のねらいについて十分理解させる必要があり、Unit 5 で学習した接続詞を使用したモデル文を読み、英文を書き、発表すると共に互いに質問し合う活動を取り入れる。

6. 生 徒 観

習熟度別クラスの中で比較的英語に対して苦手意識を持っている生徒が多いクラスである。提示した課題に対して積極的に取り組む姿がある。しかし、パターンプラクティスなどには積極的に取り組むが、音読や発表などに対してはなかなか積極的になることができない。生徒同士の活動を多くし、英語を使って表現することに抵抗を感じさせないよう日ごろから心がけて取り組んでいる。

7. 指 導 観

本単元では、既習事項を基に自分自身が考えて英文を書く力を養うための教材を提示している。今回は本学年での課題でもあるライティング力の育成に向けたオリジナルの教材を提示し、取り組む。NET とともにモデル文などの見本を提示し、生徒にイメージを持たせてスムーズに英文を書けるよう努める。同時に、発表に向けての指導を行うことで自信を持って英語を発表できるようサポートしていく。

また、PC や書画カメラを使用することで、モデルの提示をより効果的に行い、生徒の理解を深め、生徒の発表などに役立つように工夫し、活用したい。

8. 単元の評価規準

は本時の評価

<p>コ</p> <p>コミュニケーションへの 関心・意欲・態度</p>	<p>表</p> <p>外国語表現の能力</p>	<p>理</p> <p>外国語理解の能力</p>	<p>言</p> <p>言語や文化についての 知識・理解</p>
<p>①積極的にペアワーク・グループワークを行い、相手の話していることを聞こうとしている。 (Listening)</p> <p>②自分の伝えたい表現を積極的に伝えようとしている。 (Speaking)</p> <p>③本文を意欲的に読み、内容を理解しようとしている。(Reading)</p> <p>④与えられた課題に対して積極的に取り組もうとしている。(Writing)</p>	<p>①相手の言っていることを正確に聞き取り、適切な表現で応じることができる。 (Speaking/Listening)</p> <p>②接続詞の使い方を理解し、正しく英文を書くことができる。 (Writing)</p> <p>③既習事項を使って、英文を書くことができる。 (Writing)</p>	<p>①本文の中にある情報を理解し、具体的に聞き取ることができる。 (Listening)</p> <p>②相手の言っていることを理解し、内容に応じた質問をすることができる。 (Speaking)</p> <p>③本文の内容を理解することができる。 (Reading)</p>	<p>①接続詞の使い方、表現方法を理解する。</p> <p>②英語での発表方法を学び、身に着ける。</p>

9. 指導と評価の計画

時数	○ねらい ・ 学習内容	評価規準				評価方法
		コ	表	理	言	
第1時	<p>U5 Starting Out</p> <p>○接続詞 if を使った表現を理解することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接続詞 if の用法を理解する。 ・グループワークを通して if のオリジナル文を作り、chants の形式で発表する。 <p>○本文の内容を理解し、音読することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新出単語の確認をする。 ・本文を読み、内容を理解する。 	①		③		ワークシート活動の様子
第2時	<p>U5 Dialog</p> <p>○接続詞 that を使った表現を理解することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション活動を通して I think that.... の用法を理解する。 ・学習したことをもとに I think that を使った英文を書き、発表する。 <p>○本文の内容を理解し、ペアで音読することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新出単語の確認をする。 ・本文の内容を理解して、ペア音読をする。 	④		③		ワークシート活動の様子
第3時	<p>U5 Reading for Communication①</p> <p>○接続詞 when の使い方を理解することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション活動を通して接続詞 when の用法を理解し、定着を図る。 ・when を使った英文を書くことができる。 	③	③			ワークシート活動の様子

	<p>○本文の内容を理解することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新出単語の確認をする。 ・本文の内容を理解して音読することができる。 					
第4時	<p>U5 意見を述べよう</p> <p>○接続詞 because の使い方を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション活動を通して、接続詞 because の用法を理解し、定着を図る。 ・コミュニケーション活動をもとに接続詞 because を使った英文を書くことができる。 <p>○本文の内容を理解し、音読することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新出単語を確認する。 ・本文の内容を理解し、音読することができる。 	③		①		ワークシート 活動の様子
第5時	<p>Review</p> <p>○接続詞を復習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション活動を通して接続詞の復習をおこなう。 ・既習事項を使用して簡単な英文を書く。 <p>○発表の仕方を学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション活動を通してプレゼンテーションに向けた準備をする。 	②			① ②	ワークシート 活動の様子
第6時	本時	④	③			ワークシート
後日	<p>Multi Plus 3</p> <p>○友達の発表を聞いて、質問をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・残りの生徒の発表を聞いて、質問する。 ・発表の振り返りをする。 			①	②	ワークシート 活動の様子

10. 使用教材・教具

ノートパソコン、プロジェクター、マグネットスクリーン、パワーポイント、スピーカー、ワークシート、デジタルタイマー、書画カメラ

11. 本時の学習

(1) 目標

- ・自分の好きなこと・ものについて接続詞 **if, that, when, because** などを用いながら4文以上の英文を書き、発表することができる。

(2) 指導手順

学習内容・時間・生徒の活動	教員の支援		指導上の留意点	評価規準・方法等
	JTE	NET		
Greeting(1min)	しっかりと挨拶する。	Greeting	挨拶ができているか確認する。 活動が分からなければサポートする。	
Warm-Up(6min) conversation practice	NET が生徒 1 人ひとりに Q&A をする。	NET asks a question each student.		

<p>Introduction(7min)</p> <p>パワーポイントで示されるモデルから、活動内容を知る。</p>	<p>今日の目標を提示する。</p> <p>NET の model reading を聞くように指示する。 Listen & Repeat</p> <p>Writing のポイントを説明する。 When / I think / Because を使って英文を作る。</p> <p>Question & Answer</p>	<p>Read model sentences. Listen & Repeat</p> <p>Explain points of making sentences.</p> <p>Question & Answer</p>	<p>目標を理解させる。</p> <p>大きな声でリピートする。</p> <p>分からないことがあれば質問を受ける。</p>	
<p>Writing Activity(23min)</p> <p>・3min topic choice ・5min draw pictures ・15min writing</p>	<p>ワークシートを配る。</p> <p>ポイントに注意しながら生徒の活動を支援する。</p> <p>ポイントをおさえている生徒がいれば全体に示す。</p>	<p>Help students, if some don't understand.</p> <p>Show a good model of students, if possible.</p>	<p>辞書を使って調べられるようにする。</p> <p>必要に応じて質問に答える。</p> <p>できた生徒は発表の準備をさせる。</p>	<p>☐④ ワークシート</p> <p>☐表③ ワークシート</p>
<p>Presentation(14min)</p> <p>Reflection(1min)</p>	<p>プレゼンテーションを行うときのポイントを説明する。</p> <p>自分の書いた文章を読む練習をさせる。</p> <p>発表する。</p> <p>発表後、次回に向けてのアドバイスをし、次回の連絡をする。</p>	<p>Explain about points of presentation.</p> <p>Practice reading.</p> <p>Let students present until 2min (before)class end.</p> <p>Give some advice for next class.</p>	<p>プレゼンテーションのポイントを意識させる。</p> <p>原稿を見ずに読めるよう支援する。</p> <p>内容、時間を考慮して選ぶ。</p>	

(3) 板書計画

<p>☐タイマー</p>	<p>Goal</p> <p>Writing original sentences</p> <p>Presentation to students</p>	<p>マグネットスクリーン</p>
<p>Warm-Up</p> <p>Introduction</p> <p>Writing Activity</p> <p>Presentation</p> <p>Reflections</p>		